

平成24年  
7月1日号

子どもと未来の柏のために

# 放射線対策 NEWS NO.012

掲載情報は個別に記載したものを除き6月21日現在のものです

## 空間放射線量測定器が最長3日間まで借りられるようになります

市民の皆さんが除染活動で利用しやすいよう、空間放射線量測定器の貸出期間を最長3日間までに変更します。

	変更前	変更後
貸出期間	1日。町会・自治会等については、3日以内	3日以内。どなたでも

変更開始日/7月3日(火)受け付け分から

空間放射線量測定器の利用には、事前の予約が必要です。施設ごとに予約状況が異なりますので、貸し出しを希望する施設へ直接ご連絡ください。

☎放射線量測定コールセンター ☎7168-1037

## 除染支援パンフレットを配布中

市民の皆さんが個人で行うことができる除染の方法等をまとめた小冊子「子どもと未来のために～私たちの手で行う放射線量の低減～」を配布しています。ぜひご活用ください。

配布場所/放射線対策室(市役所本庁舎4階)、沼南支所総務課(沼南庁舎1階)、各近隣センター(北部、柏ビレジ、根戸を除く)  
 ◎市のホームページからダウンロード可  
 ☎放射線対策室 ☎7168-1036

## 放射性物質の検査結果

### ■市内の農産物 ☎農政課 ☎7167-1143

<b>N</b> [北部]根ショウガ、葉ショウガ、白菜、小松菜、ブルーベリー[中央]ルッコラ、ジャガ芋[南部]インゲン豆、ズッキーニ、大根、枝豆、赤シソ、ブルーベリー[手賀沼周辺]ニンジン、ズッキーニ、インゲン豆、トマト、スティックブロッコリー、グリーンピース、キャベツ、カボチャ、キュウリ、ジャガ芋 <b>㊦</b> [北部]ブルーベリー	検出下限値未満 (㊦)134: 5.77 ~ 13.04、 (㊦)137: 5.26 ~ 11.84)
<b>㊦</b> [手賀沼周辺]梅	(㊦)134: 11.2、 (㊦)137: 17.8 (6月1日~19日検査分)

### ■給食食材 ㊦ ☎学校保健課 ☎7191-7376

牛乳、米など2品目	検出下限値未満 (㊦)134: 10、 (㊦)137: 10※飲用牛乳は各1)
-----------	---

### ■小中学校(提供した給食1食分)㊦

自校調理7校、給食センターの提供食 ☎学校保健課 ☎7191-7376	検出下限値未満 (㊦)134: 0.9 ~ 1.6、 (㊦)137: 0.8 ~ 1.5)
--	---

### ■保育園(提供した給食1食分)㊦

公立・私立合計19園の提供食 ☎保育課 ☎7167-1137	検出下限値未満 (㊦)134: 0.51 ~ 0.76、 (㊦)137: 0.40 ~ 0.74)
-----------------------------------	---

#### ■表記の説明

**N**=NaI (TI)シンチレーションスペクトロメータによる検査

**㊦**=ゲルマニウム半導体検出器による検査

**㊦**=放射性セシウム

数値は各下限値。単位はベクレル/キログラム

検出下限値=使用する検査機器で検出できる最小値のこと

※検査機器が異なるため、下限値の設定が異なります。NaI (TI)シンチレーションスペクトロメータ検査で、数値が検出された場合、より精密な測定が可能な「ゲルマニウム半導体検出器」で再測定を行います

品目・学校名・検査方法などの詳しい内容は、市のホームページに掲載しています。私立幼稚園の検査結果も見ることができます

## 地域で進む除染活動

市では、町会や自治会、管理組合等と協力しながら、地域の除染を進めています。6月に除染を行った町会等は10団体(6月21日現在。予定のものも含む)。すべて土・日曜日を利用しての活動です。地域除染のご相談は、除染支援相談員が放射線対策室へご連絡ください。

☎放射線対策室 ☎7168-1036

### 6月に行われた地域の除染活動(右記紹介以外)

- 3日 プロムナード大津ケ丘管理組合
- 10日 松野台町会
- 16日 サークル柏ウエストタワー
- 24日 柏駅周辺放射線量低減のための清掃実行委員会
- 30日 柏の葉キャンパス一番街管理組合

### 6/3 大津ケ丘 第四住宅管理組合



公園にある樹木の根元の土を除去

### 6/10 高野台町会



道路際の堆積物を除去

### 6/10 桃山町会



集水ますの中の堆積物やグレーチングに詰まった土や苔を除去

### 6/16 東中新宿町会



側溝内の土砂を除去

### 6/17 あざみ町会



道路際の堆積物を除去

## 市民プールの除染は終了しています

本日開場するすべての市民プールは、除染作業を終了しています。市民プールの利用等については、本紙6月15日号をご覧ください。

プール名/ひばりが丘・柏西口第一公園・逆井・船戸・大津ケ丘中央公園

☎スポーツ課 ☎7191-7399



放射線に対する理解を深める一助となることを目的に、放射線に関する基本的な情報を皆さんにお知らせします。

☎放射線対策室 ☎7168-1036

## 第11回 放射線量と健康との関係(身の回りの放射線被ばく)

放射線による人体への影響については、広島・長崎の原爆被災者の追跡調査、医療被ばく者や高線量自然被ばく地域の住民、鉱山労働者の疫学研究などの積み重ねにより、明らかになってきています。

放射線が人体へ及ぼす影響の一つは、被ばくをした人の身体に現れる「身体的影響」です。身体的影響には、一度に大量の放射線を受けた後、早い期間に症状が現れる「急性障害」と、被ばく後長期間の潜伏期を経て症状が現れる「晩発障害」があります。現在の柏市の低線量被ばくと呼ばれる状況で懸念されているのが、後者の「晩発障害」です。代表的なものにがんが挙げられます。

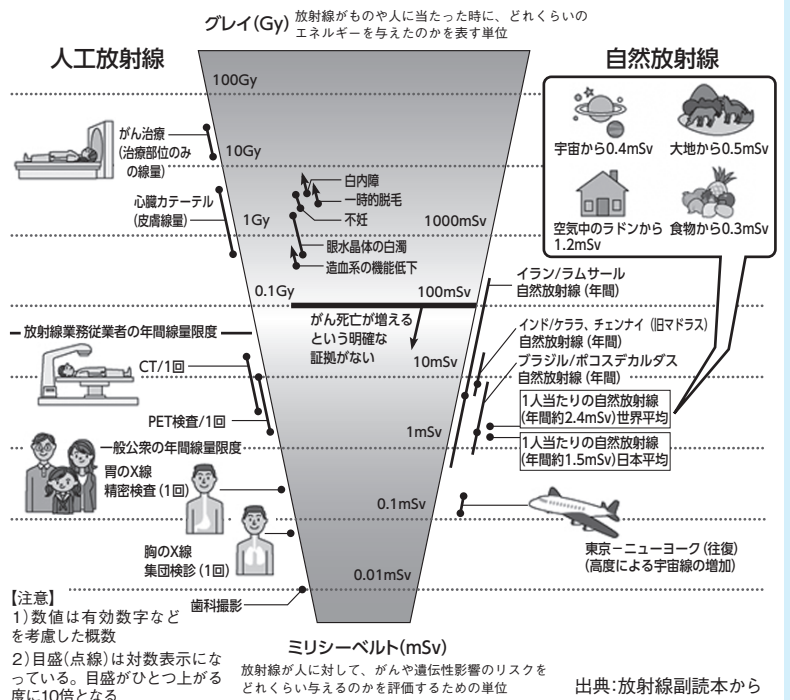
国際放射線防護委員会(ICRP)が勧告するモデルによれば、仮に1,000人のかたが、蓄積で100ミリシーベルトを受けたとすると、その被ばくに起因してがんになり亡くなる可能性がある人が約5人と試算されます。つまり、0.5パーセントの増加です。

日本人は現在、生涯でおよそ30パーセントの人ががんにより亡くなっています。統計の整理の方法、男女差や地域差、調査年による変動もありますが、1,000人のうち300人程度が何らかの原因によりがんで亡くなるということになります。これが、100ミリシーベルトの放射線被ばくにより5人増えて、305人ががんで亡くなるということになります。

では、100ミリシーベルト以下の被ばくではどうでしょうか。短い期間に100ミリシーベルト以下の低い放射線量を受けることでがんなど

の病気になるかどうかについては、がんになる他の要因に隠れてしまい、明確な証拠は得られていません。しかしICRPは、一度に100ミリシーベルトまで、あるいは1年間に100ミリシーベルトまでの放射線量を積算として受けた場合でも、線量とがんの死亡率との間に比例関係があると考えて、合理的に達成できる範囲で線量を低く保つよう勧告しています。これが放射線防護の基本です。明確な証拠がないから「大丈夫」と済ませることなく、放射線の「量」の感覚を正しく持ちつつ、「予防原則」に従って、状況に応じて上手にリスクを低減することが大切です。

### ■身の回りの放射線被ばく



今回は・・・7月15日号 第12回「がんのいろいろな発生原因」の予定です (東京大学環境安全本部・飯本武志准教授監修)